

佐賀県赤十字 特殊輸送奉仕団

Red Cross Supporters



【一ノ瀬委員長(左)】

“赤十字の想いを載せてハンドルを握る”

県内に12ある奉仕団の中の一つ『佐賀県赤十字特殊輸送奉仕団』。赤十字の人道博愛の精神に基づき赤十字社の行う災害救護活動等に関する業務に奉仕することを目的に活動している。所属しているのは、車の運転や整備を得意とする**車両のスペシャリスト**集団だ。

特殊輸送奉仕団を結成したのは、現在の委員長である**一ノ瀬**委員長。結成のきっかけとなったのは、**赤十字との出会い**であった。

当時、自営業を営む傍ら、4輪駆動車を愛好する仲間が集まって結成された「佐賀4×4DMCクラブ」で活動していた一ノ瀬委員長は、佐賀県赤十字血液センターで**献血バスの運転**をメインに行う職員を募集していることを知り、血液センターに入社。そこで、赤十字には無線奉仕団など、**自分の特性を生かして奉仕活動**をする団体があることを知り、自分たちのできる範囲で4輪駆動車の特性を生かした活動をしようと考え、昭和63年1月に特殊輸送奉仕団を立ち上げた。

普段の活動は、県内各地への赤十字広報誌の配送や都市対抗県内一周駅伝などの際に救急車の運転などを担っている。また、冬の時期には、支部にある救護車両をスタッドレスタイヤへ交換することも欠かせない役割の一つとなっている。

そして、大きな災害が起こった際には、資機材運搬車に救護物資を積み込んで、県内外を問わず被災者のもとへ救護

物資を届けている。平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、発災1週間後、一般車両が通行止めになる状況下、救護物資を積んで現地入りした。市内ではガスの臭いが立ち込める中、恐怖を感じることもあったが**被災者のため**にと車を走らせた。

昨年の令和元年8月豪雨災害の際にも、いち早く避難所へ救護物資をお届けし、物資を2つ抱えながら避難所に運ぶ姿が見られた。また、他の団員が支部にある救護車両の空気圧を確認するなど、救護活動を行う上で重要な車両の整備を行った。

何より**人との繋がり**を大切にしている一ノ瀬委員長。血液センター在職時に赤十字救急法指導員資格を取得するなど、自らの輪を広げていた。退職後は、血液センターで知り合った方の縁で、地域のためにドライバーの仕事をしている。

今後については、「ライフラインが絶たれるような大きな災害時に、**車両の可能性を追求**していきたい」と話す一ノ瀬委員長。身近にあるエネルギー源として、輸送、発電、暖房、冷房、プライバシーの確保等、いろいろな角度からアプローチをしていく。

赤十字の活動は、多くのボランティアの方に支えられています。老若男女問わず、ボランティア活動に興味のある方は、ぜひ日本赤十字社佐賀県支部までお問い合わせください。

広報誌「赤十字さが」Vol.82 令和2年4月1日発行 編集・発行◎日本赤十字社 佐賀県支部

赤十字さが



年2回発行(4,10月)



さがの人たちにもっと伝えたい、
佐賀の赤十字。

県内各地でNHK海外たすけあい街頭募金を実施！

赤十字活動資金の使い道～寄付が被災地に届くまで～

“地域”で考える“防災”～今後起こりうる災害に備えよう～

新型コロナウイルス感染拡大に伴う献血のお願い



公式Instagram開設！



公式Facebook更新中。



日本赤十字社

佐賀県支部

〒840-0843 佐賀市川原町2番45号
TEL.0952-25-3108

唐津赤十字病院

〒847-8588 唐津市和多田2430番
TEL.0955-72-5111

佐賀県赤十字血液センター

〒849-0925 佐賀市八丁堀町10-20
TEL.0952-32-1011



ご愛読

ありがとうございます。

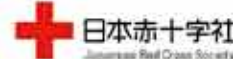
赤十字活動資金の使い道

皆さまからのご寄付は、ここで紹介する「災害救護活動」をはじめ、苦しむ人を救う様々な活動に大切にに使わせていただいています。



皆さまからのご寄付 (赤十字活動資金)

1



日本赤十字社にご寄付が届きます

2 平時の備え

災害時に迅速に対応するため、災害救護訓練、資機材の整備、ボランティア育成等を行っています。



災害救護訓練
被災地で迅速に医療救護活動を展開するため様々な災害を想定した訓練を実施。



ボランティア育成
災害時にはもちろん、日頃から地域・学校で活躍するボランティアを育成します。



日頃やっていないことは、いざという時にできない。

3

災害発生

日本赤十字社が総力をあげて対応

救援物資の備蓄
災害時に必要となる物資を、様々な拠点到に配備しています。



■主な救援物資



緊急セット

安眠セット

毛布

被災地へ出発



医療救護班や救援物資は、陸、海、空、様々な手段で被災地へ



ボランティアと共に必要な物資を準備



全国の赤十字が連携し、被災地に向けて職員を派遣する準備をします。

少しでも体を休めていたために。

救援物資の配布



被災地での活動

4

被災地で行う活動 1



医療救護

被災地の医療ニーズに合わせ、救護所の設置や巡回診療を行います。

被災地で行う活動 2



こころのケア

災害はこころにも大きな傷を残します。少しでもこころが休まるよう寄り添います。

被災地で行う活動 3



血液製剤の供給

全国の血液センターが連携し、災害時も必要な血液を安定的に供給します。

地域防災力の向上
地域の自助・共助の力を高めるため、いのちを守る知識と技術を伝えるセミナーを実施しています。



未来へつなげる

5

過去の災害救護で培った経験を忘れずに、未来へつないでいきます。



きげんはっけん!



こどもたちへの防災教育
未来を担うこどもたちへ、自然災害の正しい知識と、自ら考え生き抜く力を。

今後、発生が予想される大規模災害に備えるためにも...

赤十字活動資金にあたたかいご協力をお願いします





日本赤十字社創立記念日(5月1日)や赤十字社の
創設者アンリー・デュナンの生誕日(5月8日)などに
ちなみ、日本赤十字社では5月を「赤十字運動月間」
として定め、さまざまな広報活動を実施します。
特に「苦しむ人びとを救い続けるため」の活動
資金へのご協力をよろしくお願いいたします。



『赤十字防災セミナー』 ～今後起こりうる災害に備えるため、 県内各地で出前講座を実施いたします～

自分の暮らす街で、
起こりやすい災害や
危険な場所を
確認しよう！



MENU

- 「災害への備え」スライド
 - 熊本地震救護活動DVD
 - 講話【①災害を知ろう。自助・共助の役割 ②非常持出品の準備 ③避難所での生活】
 - 災害食づくり
 - 応急手当
- お気軽にお問い合わせ下さい。

佐賀豪雨災害の教訓を生かす

大雨からいのちを守るためには、出来る限り『早めに、安全な場所に』避難しましょう。

早めに 安全な場所へ 避難する



道路の冠水などが始まる前に、大雨に関する情報に注意をし、早めに安全な場所へ避難することが重要です。また早めに行動することでより安全に避難することができます。避難をする場所はハザードマップなどで事前に確認しておきましょう。

声をかけながら 率先して 避難する



周りの人に声をかけながら率先して避難しましょう。率先して避難する姿が、周囲の人たちに危険を知らせる信号になり、地域の人々のいのちを守ることに繋がります。

避難が 危険な場合



すでに外が暗くなっていたり、避難が遅れ、道路が水であふれたりしている場合などは、無理をして避難するほうが危険な場合があります。そのような時は、自宅の2階などより高い場所へ避難することで、一時的に難を逃れることができます。

新型コロナウイルスの 感染拡大に伴う献血のお願い



この度の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、イベントの中止や延期のほか、企業の在宅勤務などの感染防止措置が強化され、予定していた献血会場の実施が困難な状況となっています。今後もこの動きの広がりが見込まれ、献血協力者が減少することで、血液製剤の在庫量を安定的に維持することが困難になることが危惧されますので、献血へのご協力を心よりお願い申し上げます。

献血プラザさがでは感染予防のため体温測定
と手指消毒へのご協力をお願いしています。



《献血の際はご予約をお願いします》

献血される方が一時期に集中することを避けて、有限で貴重な献血血液を有効に活用するため、献血ルームでは、ご協力をいただく際には可能な限りご予約をお願いしております。また、日々必要になる血液を長期間にわたり安定的に患者さんにお届けするためにも、一時期に偏らない献血をお願いしており、献血日の調整をお願いすることがございます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。ご予約はぜひ献血会員Webサービス「ラブラッド」よりお願いいたします。

会員になると…

- ▶ 全国すべての献血ルームの予約が可能に！
 - ▶ ポイントを貯めて記念品と交換！
 - ▶ 血液の検査結果等を含む献血記録がいち早くわかる！
 - ▶ 過去の献血記録が確認できる！
- などなど便利なサービスがたくさんあります！



入会はこちらの
QRコードから
お願いするっち！



9月 キッズ献血をテーマに！

■夏休みの自由研究で地区特選を受賞
～久間小学校の織田さんと糸山さん～

昨年8月に佐賀県赤十字血液センターで開催された献血模擬体験「キッズ献血」へ参加した嬉野市立久間小学校5年の織田菜々花さんと糸山詩音さん。その体験を模造紙10枚にまとめて発表され、鹿島・嬉野・藤野地区社会科夏季作品展「特選」を受賞されました。二人は「キッズ献血で初めて知ったことがたくさんあった。頑張って作ったので嬉しい。」とのこと。作品は9月に鹿島市のショッピングモールで掲示されるなど広く地域で紹介されました！

次回のキッズ献血は2020年8月実施予定だっち！



+ September



11月
21(木) 新型インフルエンザ訓練

11月21日に検疫所・保健福祉事務所・警察・消防・唐津赤十字病院合同で新型コロナウイルス訓練が行われました。唐津港に寄港する客船において新型コロナウイルス疑似症患者が発見され、第2種感染症指定医療機関である当院は、特別検疫対応に伴う患者受け入れを行うという想定で訓練が行われました。

訓練に参加した職員は気密性の高い防護服を着用し、訓練が終わるころには、汗びっしょりになっていました。訓練後の全体意見交換会では、今後の課題や行動に向けた検証・検討などそれぞれの立場から意見が交わされました。

+ November



1月 はたちの献血キャンペーン

■ゆめタウン佐賀で献血をお願いしました！

1月13日の成人の日、ゆめタウン佐賀にてイベントを開催しました。当日は九州出身アイドルグループ「Hello Youth」をはじめ、福岡を中心に活動するアイドルユニット「QunQun」、シンガーソングライターの野副一喜さんのライブほか、クイズ大会や学生献血推進協議会による活動発表も行われ、会場は大いに盛り上がりました。当日は99名の方に献血にご協力いただきました！

+ January



1月
21(火)22(水)
令和元年度九州管区広域緊急援助隊
合同訓練へ参加！

九州管区広域緊急援助隊合同訓練が、武雄市にある大同メタル佐賀株式会社敷地内で開催されました。日赤佐賀県支部はDMATが医療救護訓練に使用する救護所を設置するため、21日の訓練に参加しました。災害想定としては、大雨災害となっており、“令和元年佐賀豪雨災害”を踏まえた災害想定となっていました。日赤佐賀県支部は、日頃より関係機関と連携をとり、今後、起こりうる災害に対し備えています。



1月 日赤原子力災害対応基礎研修会開催！

■～九州の救護班要員等が唐津に参集～

1月24日(金)、25日(土)にかけて九州各県の赤十字施設職員ほか運営スタッフ含め
総勢53名が、唐津赤十字病院で原子力災害対応研修会を実施しました。

研修会では、日赤救護班要員等が、放射線環境下での救護活動に安全かつ安心して従事できるよう放射線や原子力災害医療体制等にかかる基本的知識及び放射線防護資機材の使用方法について学びました。



1月 久光製薬株式会社と災害時における支援協定を締結！

■～災害時の救護活動支援～

1月31日(金)、久光製薬株式会社と日本赤十字社の間で新たな支援協定が締結されました。災害発生時、被災地ではどんな経験豊富な救護員であっても、常に病気・けがの心配があります。この協定により、日赤職員・赤十字ボランティアの方々・被災者のニーズに応じて、久光製薬が提供可能な物資を迅速かつ無償で提供されることになりました。応急対応から復興支援まで被災者に寄り添った支援を行う日赤の活動に役立てられます。



2月 令和元年度“第2回支部評議員会”を開催！

■令和2年度事業計画と予算が承認されました

佐賀県支部評議員会において決議された一般会計歳入歳出予算に基づき、今年度も県内における赤十字事業を展開します。

+ February

